

関係副詞の見取り図

年 組 番 名前

この紙のゴール：関係詞のうしろの文に穴があるかどうかで、関係代名詞と関係副詞を選び分けられる

実力を伸ばすクラス 偏差値のめやす 50～60程度 高校範囲の6つの型を通します（確認は4択）

気づき AとB、先行詞はどちらも the town（町）。なのに使う関係詞が違う。何が違う？（30秒考えて、となりの人と答え合わせ）

A	This is the town which I visited last summer.
B	This is the town where I stayed last summer.

先行詞はどちらも the town なので、「場所だから where」は使えません。見るのはうしろの文だけ—Aは I visited ____ で目的語が欠けているので関係代名詞、Bは I stayed ____ でそろっているので関係副詞。先行詞の意味は確認にしか使いません。

整理 この単元で扱う6つの型（関係副詞とその周辺）

形	作り方	表すこと	例文
where（場所）	先行詞（場所）＋ where ＋ そろった文	そこで～する	This is the cafe where we first met. ここが、はじめて会ったカフェだ。
when（時）	先行詞（時）＋ when ＋ そろった文	そのとき～する	I still remember the day when we won. 勝った日のことを今も覚えている。
why（理由）	the reason ＋ why ＋ そろった文	そういうわけで～	That is the reason why I chose this school. それが、この学校を選んだ理由だ。
how（方法）	how ＋ そろった文（the way は不要）	～するやり方	This is how I study English every day. これが、毎日の英語の勉強のしかただ。
前置詞＋関係代名詞	先行詞 ＋ 前置詞 ＋ which	関係副詞と同じ中身	This is the cafe in which we met. （同じ内容のかたい書き方）
複合関係詞	whoever / whatever / whenever / wherever / however	～する人は誰でも／どんなに～でも	You can sit wherever you like. 好きなところにすわっていいよ。

手順はひとつ—うしろの文を見て、穴があいていれば関係代名詞、そろっていれば関係副詞。ただし前置詞＋関係代名詞（in which）は別枠で、前置詞ごと前に出ているぶん、うしろの文はそろって見えます（where を開いた形）。

確認 （ ）内から正しいものを選ぼう。 知識・技能

- (1) This is the house (where / which / when / that) my grandmother lives.
- (2) This is the house (which / where / when / why) my grandmother built.
- (3) Tell me the reason (how / which / where / why) you changed your mind.
- (4) That is (the way how / how / the way which / how the way) she solved the problem.
- (5) (However / Whenever / Whatever / Wherever) you need is in this box.

関係副詞の見取り図 | 解答とつまずきポイント

確認の解答

(1)	where	うしろは lives で文がそろっている＝関係副詞。
(2)	which	built の目的語が欠けた＝関係代名詞。先行詞が同じでも変わる。
(3)	why	the reason のうしろは why。文はそろっている。
(4)	how	the way how とはいけません。 the way か how のどちらか一方だけ。
(5)	Whatever	「必要なものは何でも」＝need の目的語が欠け、 かたまりが文の主語。

つまずき① 先行詞の意味で関係詞を選ぼうとする

「場所だから where」「時だから when」は、the town which I visited や the day which I will never forget で必ず破綻します。先行詞はwhere と when のどちらかを選ぶときにだけ使う情報です。見るのはうしろの文に穴があるか—それだけ。

× This is the town where I visited last summer. → ○ This is the town which I visited last summer.
visited の目的語が欠けている（穴がある）ので関係代名詞。where だと visited の目的語が行き場を失う。

つまずき② the way how と並べてしまう

the way how とはいけません。 This is the way I study. か This is how I study. のどちらか一方です（the way in which はかたい書き言葉で可）。ほかの3つ（where / when / why）は先行詞と並べても大丈夫なので、how だけが例外です。

× This is the way how I study English. → ○ This is how I study English. / This is the way I study English.
how だけは先行詞を取らない。4つのうち1つだけ例外だと知っていれば落とさない。

つまずき③ 関係副詞は「前置詞＋関係代名詞」と中身が同じ

the cafe where we met = the cafe in which we met。関係副詞は前置詞のぶんまで引き受けているので、うしろの文がそろって見えます。だから where のうしろに in を足すと二重になります。入試ではこの言い換えがそのまま出ます。

× This is the cafe where we first met in. → ○ This is the cafe where we first met. / This is the cafe in which we first met.
where がすでに in the cafe の意味を含んでいる。前置詞を足すと重複。

つまずき④ 関係副詞は省略できることがある

the day (when) we met / the place (where) we met のように、先行詞と関係副詞は、どちらか一方を落とせることがあります。よく落ちるのは when と the way、それに the place のような一般的な語です。ただし the town where I stayed のような具体的な名詞では where を落とせません。読むときは「関係詞が見えない＝無い」ではなく**省略を疑う**—長文で主語と動詞を取りちがえる原因はここです。

× I remember the day we met it. → ○ I remember the day we met.
when が省略されているだけで、うしろの文はそろっている。目的語を足す必要はない。

つまずき⑤ 複合関係詞の -ever を「疑問」と読む

whatever / whenever / wherever / whoever は「～するものは何でも」「～するときはいつでも」で、疑問ではありません。However hard it is, I will keep going. のように「どんなに～でも」の譲歩にもなります（この形は入試の定番）。

× Whatever do you want? I will buy it for you. → ○ Whatever you want, I will buy it.
-ever の文は疑問文の語順にしない。「何がほしくても」＝かたまりで主語や副詞になる。

授業のひとつ 導入は the town の2文だけで十分です。「先行詞が同じなのに関係詞が違う」を先に体験させると、「うしろの文に穴があるか」という手順が納得として入ります。先行詞の意味から入ると、この単元はいちばん崩れます。

